

個別事業(取組)評価				
事業No.	36	施策の柱への位置付け	柱⑤ 放課後改革	
事業名称	放課後子どもプラン推進事業		担当課	生涯学習課
			当初予算額(千円)	364,272
			補正後予算額(千円)	325,720
			決算額(千円)	312,808

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	【現状】 ◆ 保護者が安心して働きながら子育てができ、子どもたちが放課後に安全に過ごせる場が、全小学校区の7割に満たない。 ◆ 全国学力・学習状況調査の結果から、特に中学生の家庭学習の習慣が身に付いていない。 ◆ 子どもたちの学習習慣の定着に向けて、家庭に代わって支援する場が必要である。	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 補助事業や全国調査で現状を把握していた。
		【要因】 ◆ 共働き世帯が多く、子どもたちの放課後の生活を家庭で十分に見ることができない。 ◆ 市町村の財政的な負担や、施設、指導員が確保できないことから設置が進まない。	イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 市町村や学校への訪問やヒアリングにより聞き取りを行い特定した。
②	目標(Outcome)	◆ 市町村に補助金を交付することで、放課後の学び場を設置拡大し、宿題や読書、自主学習等の学習活動を推進する。 【小学校】実施校率 73%以上(H21は65%) 【中学校】実施校率 30%以上(H21は24%) ◆ 学校の授業時間以外の学習時間(平日)を増加させる。 「30分以上勉強している」 【小学校】85%以上(H21は81.9%) 【中学校】80%以上(H21は78.9%) ◆ 指導員不足を解消する。 人材バンクへの登録168名→200名 登録者を1回以上活用 【検証(比較)方法】 市町村への調査や補助金実績報告書より把握	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 「放課後学び場」の設置目標と達成基準を明確にしていた。 エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ◆ 「放課後学び場」の実施校率 【小学校】 83% 【中学校】 41% ◆ 学校の授業時間以外の学習時間(平日)の増加(H22.7調査) 「30分以上勉強している」 【小学校】86.3% 【中学校】80.2% ◆ 人材バンクへの登録250名 人材バンク登録者と「放課後学び場」との マッチング実績 43件
		① 放課後学び場の設置拡大と活動内容の充実を図る。 ・ 運営補助 【小学校】放課後子ども教室92箇所、放課後児童クラブ63箇所 計155箇所 【中学校】33箇所 ・ 新規開設の促進(初年度のみ市町村負担を軽減) 【小学校】13箇所【中学校】10箇所 計23箇所 ・ 学習活動への支援(学習環境を整備したり、図書や教材の購入、指導員の配置を実施) 【小学校】147箇所【中学校】33箇所 計180箇所 ② 就学援助児童等を対象とした保護者利用料の減免制度に対する助成制度を創設する。 児童クラブ 31箇所 ③ 「放課後学び場人材バンク」にコーディネーターを2名配置し、学習活動を支援する指導員の発掘と市町村への情報提供を行う。 ・ 指導員確保に向けた大学との連携、高校との調整 ・ 人材バンク登録者の個別技能を活かした出前教室の実施 ④ 事業の推進と指導員の資質向上を図る。 ・ 指導員研修会の開催 ・ 関係機関の各種会議を活用した啓発や市町村での事業説明会、現場訪問の実施 ・ 児童クラブ設置運営基準の策定 ・ 事業の理解推進のための関係通知、資料集の作成	オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ① 放課後学び場の実施状況 ・ 運営補助 【小学校】放課後子ども教室 96箇所、放課後児童クラブ 59箇所 計155箇所 【中学校】 33箇所 ・ 新規開設の促進 【小学校】 15箇所【中学校】10箇所 計 25箇所 ・ 学習活動への支援 【小学校】142箇所【中学校】33箇所 計175箇所 ② 新たな助成制度として放課後子どもプラン利用促進事業を創設 児童クラブ 17箇所で活用 ③ 「放課後学び場人材バンク」にコーディネーターを2名配置 ・ 指導員確保に向け、高知大学、高知工科大学、高知学園大、山田、室戸、宿毛、清水各高校等との連携調整 ・ 出前教室の実施 11回 ④ 事業の推進と指導員の資質向上 ・ 研修会の開催:安全管理研修3回、障害児理解研修3回、学習アドバイザー研修2回、市町村等研修2回 ・ 市町村、現場訪問の実施 70回 ・ 児童クラブ設置運営基準: 放課後子どもプラン推進委員会で検討し、策定した。 (8/30、12/6、2/24) ・ 関係通知、資料集の作成: 6/2主管課長会で配付

総合評価と今後の方向	目標達成度 A 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/>	【今後の方向】 放課後の居場所・学び場の設置拡大及び質の向上を図る。 ・ 学び場の開催日数の増加 ・ 減免制度の拡充 ・ 学習環境の向上(設備、指導員の確保、図書等の購入など) ・ 指導者、コーディネーターの資質向上 ・ 効果的な事例の紹介など、情報の共有 ・ 放課後学び場と学校の連携
	【総合評価】 県内すべての小学校を対象として子どもの居場所づくりに取り組み、目標値を超える小中学校で実施することができた。 また、学習習慣の定着を目指して「放課後学び場」に対する学習活動への支援や人材の確保など、市町村を支援する取組を行い、多くの小中学校区において子どもたちが落ち着いて学習に取り組むことができる環境を確保することができた。	